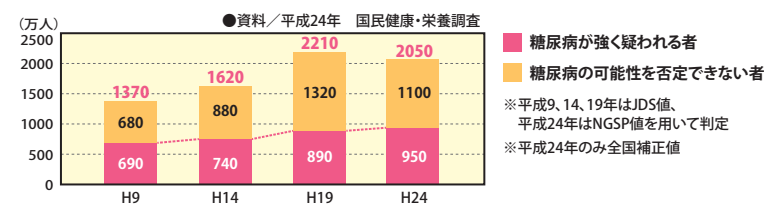


日本国内での脅威

平成24年国民健康・栄養調査によると、「糖尿病が強く疑われる人」は年々増加傾向にあり、総人口の10%を超える約2050万人の糖尿病患者および予備群がいると推定されています。

「糖尿病が強く疑われる者」「糖尿病の可能性を否定できない者」の推計人数年次推移(20歳以上、男女計)

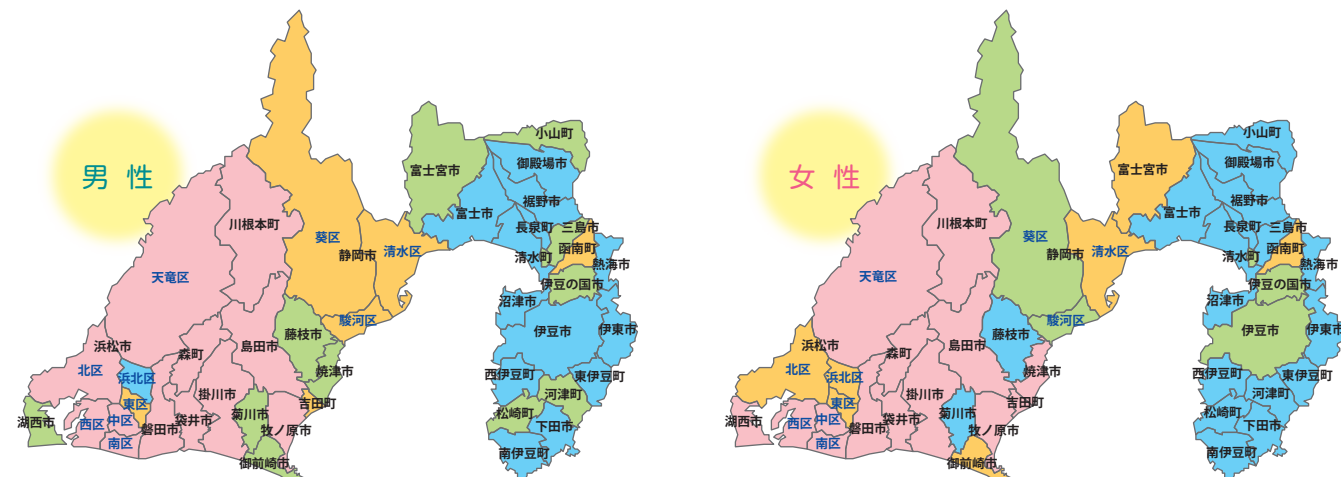
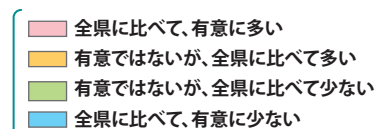


知っていますか？静岡県の糖尿病事情

全国で見るから数が多いだけ。そう思いませんか？静岡県はどのような状況でしょうか？

▶H25特定健診【全県】 糖尿病予備群

静岡県の西部地方は男女ともに糖尿予備群が非常に多い状態です。この予備群の状態を放置していると、糖尿病へと進行する可能性があります。

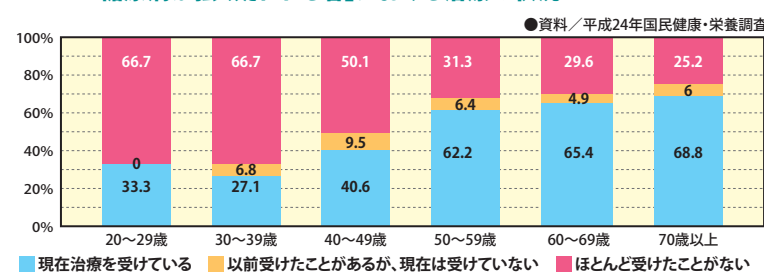


出典：静岡県総合健康センター「平成25年度特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書」

重症化予防

糖尿病は痛みなどの自覚症状が少ないことから、健康診断などで指摘をされても治療を受けないケースが多くあります。働き盛りの20～49歳の約6割が、未受診または治療中断という状況です。糖尿病を放置していると合併症を引き起こし、健康寿命を縮めてしまう可能性があります。糖尿病重症化予防のためには、早期発見・早期治療が重要になります。

「糖尿病が強く疑われる者」における治療の状況(20歳以上、男女計)



まとめ

毎年健康診断を受診していますか？血糖値が高いと指摘されていても放置していませんか？
今一度この機会にご自身の結果を振り返ってみてください。

お知らせ 11月14日は世界糖尿病デー

血糖値を唯一下げるホルモン
“インスリン”

これを発見したカナダのバンディング博士の誕生日が糖尿病デーとして制定されています。



世界糖尿病デー



6月から聖隷健康サポートセンターShizuokaで始めました！

アルコール分解酵素遺伝子検査

営業契約室 営業契約課 係長 藤原 邦晃

簡単な遺伝子検査でアルコールの代謝能力がわかります。

アルコールを分解する代謝酵素の働きには個人差があり、その強弱は遺伝子の一部の違いにより決められます。

遺伝子検査をすることで、自らのアルコールに対する体質を理解し、アルコール関連の疾患(アルコール依存症や、食道がん、肝臓疾患)への危険性が確認できます。自らの体質を知って、適度な飲酒を心がけることは疾病予防につながります。

飲酒・喫煙・遺伝子型の組み合わせと日本人の食道がんリスク
(症例/対照:1,070人/2,836人)

タイプ	ADH1B/ALDH2	週に缶ビール7缶未満		週に缶ビール7缶以上	
		非喫煙	喫煙	非喫煙	喫煙
A	弱い / 強い	1.9	3.3	6.9	12.4
B	強い / 強い	1	1.8	1.9	3.4
C	弱い / 弱い	6.8	23.1	55.7	189.2倍
D	強い / 弱い	1.7	5.7	7	23.7

Cui et al Gastroenterology 137:1768-75 2009 (一部改変)

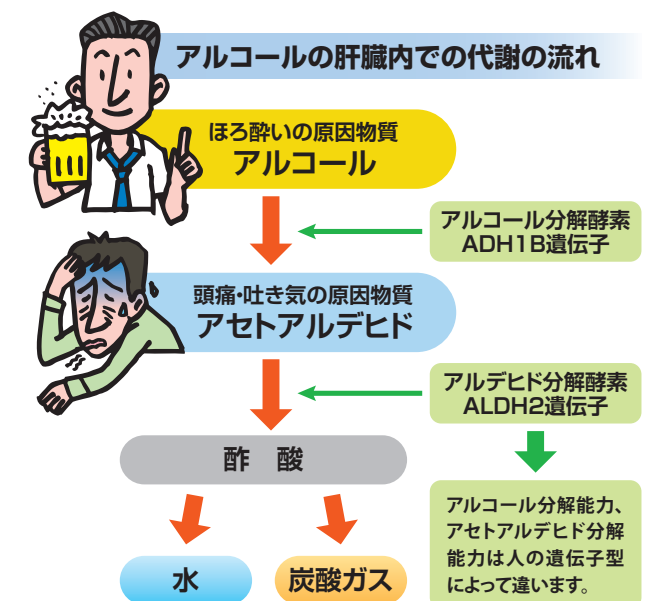
- 1) 多量飲酒と喫煙は食道がんのリスクを高めます。生活習慣が乱れている人ほど遺伝子自体によるリスクが急増しています。
- 2) 飲酒によるリスクは週96.5g以上の純エタノール摂取で増大すると報告されています。この純エタノール量96.5gはアルコール分5%ビールで350ml缶約7本分に相当します。

お酒(アルコール)に「強い」・「弱い」は、
遺伝子を調べると分かります

アルコールの代謝

口から入ったアルコールは、胃や小腸で大部分が吸収され、血液に溶け込んで、まず肝臓に送られます。

アルコールの肝臓内での代謝の流れ



この検査は…

- 晩酌する方
- 悪酔い・二日酔いをする方
- 仕事でよくお酒を飲む方
- 血縁者に食道がんの方がいる方
- 新入社員・新入学生の方

…等におすすめです



検査方法は、事前に送付する専用の綿棒(スワブ)で口腔粘膜を採取し、検査当日に提出していただきます。(検査結果は後日郵送となります)。

人間ドックでのオプションはもちろん、事業所への入社時健診等でもアルコール体質をチェックしてみてもいいかもしれません。

まずは、お気軽にお問い合わせください。

検査料金 **3,000円(税別)**

聖隷健康サポートセンターShizuoka 予約センター

0120-283-170

■予約受付時間(祝日を除く)
月～金曜日 8:30～17:00、土曜日 8:30～12:00